

自然の風景を描くこと



**Fさん** 小学校・教諭・経験年数3年

高校時代に始めた絵を描くことを、今でも続けています。美術部に所属して油絵の面白さに出会い、大学では日本画の研究室で学びを深めました。

現在は、モチーフや風景に合わせて、油絵と日本画の両方で制作を楽しんでいます。

**その取り組みはどのくらいの頻度で実施していますか。また、どのくらいの期間継続していますか。**

就職してからは本格的に制作する頻度は多くありませんが、時間を見つけては海や山に出かけ、風景のデッサンをしています。

絵を描き始めたのは高校生の頃で、現在28歳になるまで続けてきたので、絵画と関わって約13年になります。

**その取り組みをはじめたきっかけを教えてください。**

美術部に入ったのは高校生のときですが、幼いころから絵を描くことが好きでした。

小学生のころには自作のマンガを描いて、友達に見せて楽しんでいました。

中学生のときに、美術の先生に作品を褒めていただき、作品展に出品してもらったことをきっかけに、美術への関心が一層高まりました。

**その取り組みにまつわるエピソードをできるだけ詳しく教えてください。**

自分の制作スタイルはまだ模索中ですが、気付けば海や山など、自然の風景を描くことが多くなっています。

嬉しかったことは、自分の結婚式の時に桜島の絵を記念品として両家の両親へプレゼントできたことです。オリジナルの贈り物に喜んでくれました。自然の中でじっくり向き合いながら描く時間や完成したときの達成感ほかの事では得ることのできない面白さです。

**あなたにとって、その取り組みはどんな時間ですか？ また、その時間があなたの人生に変化やプラスになったことがあったら教えてください。**

前述したように、自然の中でじっくり時間をかけて風景と向き合っていると、心が洗われるような感覚になり、自分を見つめ直す大切な時間になっています。

これまで描いてきた作品を振り返ると、その当時の気持ちや状況がよみがえり、まるで自分の歩みをたどるような感覚があります。

「絵が好きだから描いている」というよりも、気付けばずっと続けてきた——そんな自然な流れで今も制作を続けています。

**仕事との両立で心掛けていることはありますか？ 特に仕事以外の時間をどのように作っていますか。また、その時間を作るコツや工夫していることを教えてください。**

仕事との両立で心掛けているのは、無理して描かないことです。

**これから教職員になる方に向けてメッセージをお願いします。**

教員の仕事は忙しい日もありますが、中でも自分の時間をつくり、好きなことを楽しむことができます。余暇の時間があることで気持ちが整い、結果的に仕事にも前向きに向き合えるようになります。ぜひ、自分らしい楽しみを大切にしながら、教職という道を歩んでいってほしいと思います。

**仲間の先生方に向けてもメッセージをお願いします。**

皆さんは、どんなふうに余暇を楽しんでいますか。仕事の合間にどんなことをしてリフレッシュしているのか、ぜひいろいろ教えてほしいです。同じ趣味でなくとも、いろんな趣味を楽しんでいる人たちで話すことができれば、世界が広がると思います。同じ世代だからこそ共感できることも多いと思うので、気軽に共有し合えたらうれしいです。

途中の作品があっても、時間や気持ちに余裕がないときは無理に完成させようとしませんが、どうしても時間と体力が必要になりますが、思うように描けない状態で続けると、絵を描くことも仕事も億劫になってしまいそうだからです。

その一方で、仕事帰りに素敵な風景に出会ったときにすぐ描けるよう、車には小さなスケッチブックを常に入れてあります。無理をしない範囲で、自然と向き合う時間をつくるのが、私にとって心地よい両立のコツになっています。

**今後、仕事以外で挑戦したいこと、勉強してみたいこと、やってみたいこと、目標などがありましたら教えてください。**

制作した作品を久しぶりに公募展に出品してみたいです。